



## 町内会が 結束してしめ縄作り

「太平山三吉神社」のしめ縄作りが1月15日、太平町町内会総出で行われました。明治の始めから「百姓の神様」としてあがめられてきたもので、この日はワラ打ちや俵作りなど集まった人は慣れた手つき。3時間ほどで長さ4俵、太さ50センチの見事なしめ縄が完成し、さっそく奉納して「無病息災」「家内安全」など祈願していました。

### 人口と世帯数 (住民基本台帳による)

|             |         |
|-------------|---------|
| 12月31日現在    | (前月比)   |
| 総人口 24,463人 | (14人増)  |
| 男 11,918人   | (4人増)   |
| 女 12,545人   | (10人増)  |
| (出生 10人     | 転入 27人) |
| (死亡 14人     | 転出 9人)  |
| 世帯数 7,299世帯 | (5世帯増)  |

# 昭和62年度決算報告

# 収支は各会計とも健全

## 昭和62年度 会計別決算の状況

(単位：万円)

| 会計名        | 歳入      | 歳出      | 差し引き額  |
|------------|---------|---------|--------|
| 一般会計       | 562,630 | 534,910 | 27,720 |
| 国民健康保険特別会計 | 133,921 | 121,965 | 11,956 |
| 老人保健特別会計   | 123,665 | 123,665 | 0      |
| 簡易水道特別会計   | 10,636  | 10,281  | 355    |
| と畜場特別会計    | 2,941   | 2,631   | 310    |
| 宅地開発事業特別会計 | 2,925   | 2,921   | 4      |
| 土地取得特別会計   | 278     | 278     | 0      |
| 綴子財産区特別会計  | 852     | 120     | 732    |
| 栄財産区特別会計   | 4,185   | 272     | 3,913  |
| 坊沢財産区特別会計  | 5,244   | 155     | 5,089  |
| 七日市財産区特別会計 | 3,864   | 107     | 3,757  |
| 墓地公園特別会計   | 885     | 885     | 0      |

昭和六十二年一般会計及び特別会計の決算は、九月定例町議会で決算特別委員会に付託、同委員会で慎重審議を重ねてきました。十二月定例町議会において認定されました。

決算特別委員会の審査結果報告は次のとおりです。

▽昭和六十二年一般会計、各特別会計の決算はいずれも定められた予算に従って適正に執行されている。

▽歳入・歳出とも南中学校建設が終わったことにより、規模は縮小しているものの平年度並みの伸び率である。特に、町税ほか収納率の向上、未収りです。

金、欠損金の減少など一部を除いて努力、改善の跡がうかがえる。

▽地方財政が一層厳しさを増すなかで、財政運用の適否は町民の生活、町の盛衰に直接かかわることを銘記し、特段の工夫・努力を願いたい。

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算額は、別表のとおりです。

## 町税の収納状況

(単位：万円)

| 区分     | 収入済額    |
|--------|---------|
| 町民税    | 74,314  |
| 固定資産税  | 70,849  |
| 軽自動車税  | 1,785   |
| たばこ消費税 | 10,589  |
| 電気税    | 6,278   |
| 木材引取税  | 388     |
| 合計     | 164,203 |

## 負担の状況

1人当り

町民税 30,361円  
固定資産税 28,945円

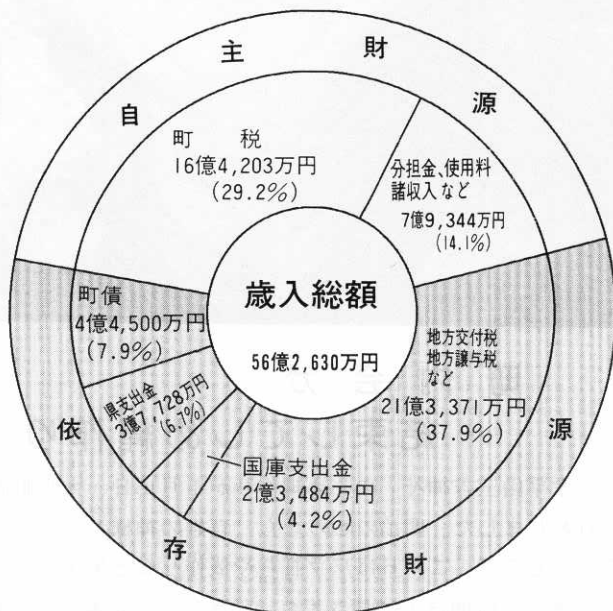
1世帯当り

町民税 102,615円  
固定資産税 97,831円

(人口 24,477人)  
(世帯 7,242世帯)

(昭和63年3月31日現在)

## 入ってきたお金の内訳



## 人口は24,477人で計算

町民一人当たりに対して支出した額は—

218,536円

## 教 育

41,653円



## 土木・災害復旧

40,069円



## 福 祉・衛 生

36,520円



## 農林水産・商工

25,664円



## 借入金の返済

24,687円



## 消 防

10,835円



## 昭和62年度の主な事業

(単位：万円)

|              |        |
|--------------|--------|
| 地籍調査事業       | 2,761  |
| 保育所児童措置費     | 14,232 |
| 家庭奉仕員派遣事業    | 1,437  |
| 塵芥処理事業       | 3,771  |
| 排水対策特別事業     | 2,099  |
| 農村総合整備モデル事業  | 1,346  |
| 町有林整備事業      | 3,337  |
| 林業構造改善事業     | 7,209  |
| 湯ノ岱温泉増築工事    | 1,433  |
| 道路維持工事       | 16,576 |
| 道路改良、舗装工事    | 18,539 |
| 河川公園整備事業     | 3,844  |
| 消防施設整備事業     | 1,235  |
| 南中学校プール建設事業  | 3,523  |
| 町営野球場整備工事    | 2,973  |
| 公共土木施設災害復旧工事 | 13,306 |

## 使われたお金の内訳(目的別)

(単位：万円)

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 学校教育や社会教育などの教育費     | 101,953 |
| 道路や橋、河川整備などの土木費     | 73,612  |
| 一般事務などに使われる総務費      | 68,172  |
| 借入金の返済などの公債費        | 60,425  |
| 福祉を増進するための民生費       | 56,215  |
| 農林業などを振興するための農林水産業費 | 42,663  |
| 清掃や予防衛生などの衛生費       | 33,176  |
| 火災予防や消火などの消防費       | 26,521  |
| 災害で壊れた箇所を復旧する災害復旧費  | 24,465  |
| 商工業の振興と観光開発のための商工費  | 20,155  |
| 公共用地取得などの諸支出金       | 13,832  |
| 町議会の運営などの議会費        | 10,302  |
| 出稼ぎ対策事業などの労働費       | 3,419   |

使われたお金の合計 534,910

## 使われたお金の内訳 (性質別)

物件費、維持補修費、補助費など

17億4,755万円(32.7%)

普通建設事業費 11億9,846万円(22.4%)

災害復旧事業費 2億3,826万円(4.5%)

扶 助 費 2億5,646万円(4.8%)

公 債 費 6億422万円(11.3%)

人 件 費 13億415万円(24.4%)

# 激動の昭和

▲大火直後から復興に立ち上がり、焼土と化した街並みが見事に生き返る。火災復興都市計画により現在の町の基盤ができた（昭和27年頃）

▶昭和二十五年六月一日は、町史始まって以来最大の惨事となった「鷹巣大火」の日である。午後九時四十分に出火、炎は東風にあおられ翌日午前四時に鎮火したが、罹災戸数五百五十戸（七百五世帯）、罹災人員三千四百人余りが焼出された。

〈写真提供 東横町・長崎久雄さん〉



▶昭和史は戦争の歴史でもあった。満州事変から太平洋戦争終結までの町出身者の英霊は七百一柱にのぼる。日の丸の旗を手に「武運長久」の祈願を行い、送別の会を催して出征兵の志気を鼓舞したあの時の記憶は生々しい。

〈写真提供 住吉町・長谷川慎一郎さん〉



# それぞれ それぞれの胸に



◀昭和三十年四月一日、五カ町村が合併して「新鷹巣町」が発足。翌三十一年九月三十日に綴子・七日市が編入合併して人口二万八千一人に。合併当初の町議会議員は大所帯であったが、新町建設に情熱を注ぐ。



▲昭和36年の国体は、町始まって以来の全国大会となり、町民あがての歓迎光景は壮大であった。遠来者は心あたたまる励ましに、どんなに勇気づけられたことか。

▲昭和五十年八月二十日未明から降り続いた豪雨で小猿部川が欠壊。明利又で家屋流失、全壊など流域一帯に被害がおよび被害者千六百六十人、被害額二十二億円を過す大災害となった。



▲旭町・山形雅晴さんの二女・芳ちやん(右)、綴子・下町堀内好信さんの二女・麻有子ちゃん(左)は、1月7日生まれて昭和最後の日の誕生となった。



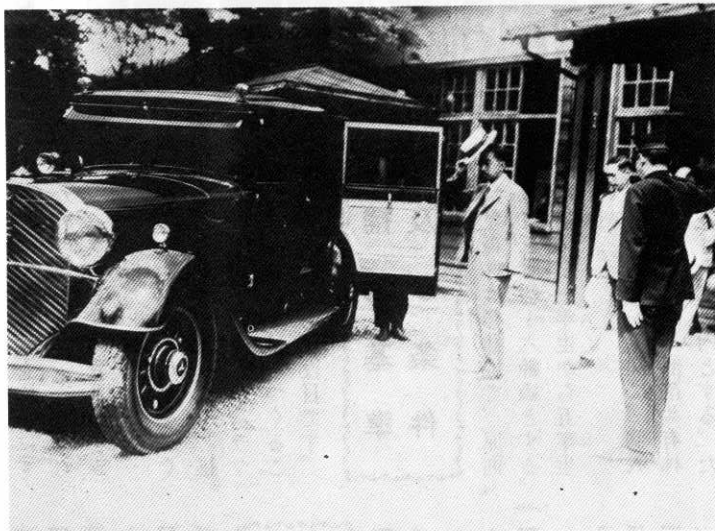
▲「平成元年ベビー一号」となった岩脇・九島勝春さんの長女・朝香ちゃんは一月九日生まれ。ひとつの時代は終わったが、町には新しい命が生まれ、この子らが町の歴史を作る。



▲昭和60年に始まった「ふるさと踊りと餅っこ祭り」。年々盛大になり初夏の風物詩として定着。ここにも激動の昭和をしっかりと支えてきた「女の底力、がある。

# 昭和天皇をしのぶ

▼昭和36年10月11日、国体バレーをご覧になった両陛下。駅頭から会場となった鷹中までの沿道は町民の列がつづき、大会ムードは最高潮に達した。



▲昭和22年8月12日地方巡奉の折、来鷹された昭和天皇は水害状況や引揚者住宅などをご視察。間近に接した町民にどう映ったことが。

▼天皇崩御を報じる各紙。87歳8ヵ月のご生涯は激動と平和の「昭和」そのものだった。



▲1月7日から16日まで役場に設けられた弔意帳所には、家族連れやお年寄りが訪れ、1,353人が記帳した。



# 鷹巣町間伐促進対策事業

## 間伐で価値あるコブクロ

町では森林が持つている水源のかん養、国土の保全など公益的機能の維持及び、人工林の質的向上を図るため、間伐の促進を目的として間伐事業費の一部を助成するための補助金要綱を設定しました(五年間実施) “良質材は間伐から” あなたの手助けをいたします。

林木がこみあつてくると、成長するにつれ年輪幅は狭く不均一な木になり、木材として

その価値が下がります。

そこで、年輪幅を均一にするため間伐して木の本数を減らし、一本当たりの成長度をふやしてやる必要があります。

また、しっかりとした株をつくるために素性の悪い木や、被害にかかった木を切り、バラツキのない健全な材をつくることの間伐の大切な役目です。

### 補助基準 及び条件

▽対象森林は杉林地で、原則として三齢級〜六齢級とする。  
(一齢級：一年生から五年生まで)

▽対象面積は一年間に、個人有林は二畝以内。部落共有林の場合は十畝以内とする。た

だし、法人所有林については対象としない。

▽間伐率は約二〇割以上もしくは、一畝当たり約四百本以上の間伐とする。

▽一畝当たりの事業費は、各年度国・県補助対象額以上とする。

▽当該事業の対象林における補助金交付は重複しないものとする。

▽事業実施主体は、原則として鷹巣町森林組合とする。

### 補助金額 について

▽国または県の補助金を受けて実施する事業においては、一畝当たり二万五千円を限度とする。

▽それ以外の事業においては一畝当たり七万円を限度とする。問い合わせは、農林課林務係(☎六二一一一一一内線二四六) 鷹巣町森林組合(☎六二一一六六四)

た



間伐すると山は生き生きしてきます



### 町長日記

出川禮一

1月1日~15日

■1日(日) 年賀郵便の出發式。鷹巣郵便局では元旦に膨大な年賀状を迅速、円滑に配達するため、多くのアルバイトを雇員しているが、この激励をかねて出發式を行うものであり、出席しあいさつを述べた。

また、この日恒例の元旦マラソンは、小、中学生を主体に三百二十人余り参加し、一\*、二\*コースを完走した。

無災害を祈念し、同時に有事に備えた普段の訓練及び体勢整備を強く要望した。

■5日(木) 商工婦人部主催による新春交流会に出席し年頭のあいさつを述べた。

■6日(金) 鷹巣建設技能組合の総会に出席。

■7日(土) 本朝六時三十分天皇陛下が崩御なされた。この日町役場では弔旗を掲げ、弔意を表し弔問記帳をはじめた。

■2日(月) 栄地区新年交流会に出席。

■3日(火) 竜森地区新春清談会に出席。

■4日(水) 町役場の仕事始め、全職員を集め年頭のあいさつを述べた。また、恒例の交通指導隊観閲式は旧年中のご労苦に感謝し、本年の交通事故絶滅を期し、より一層の運動を展開することを要請した。

六十三年有余のご在位中は、正に激動の年代であり、戦争、敗戦、復興、繁栄等、長い日本の歴史のなかでも、また世界史のなかでも特筆すべき年代であったと思われる。

消防出初式は町の目抜き通りを行進、その後式典は

通りを行進、その後式典は

■8日(日) 皇室典範の定めにより、皇太子殿下がご即位になり、元号も「昭和」から「平成」となった。昭和年代を懐古するに、余りにも多く、深く、尽きないものを覚える次第である。



## 冬期間歩行者空間確保パイロット事業

# 『雪みち計画』を策定

### 歩行者の安全を最重点に



雪との戦いは北国の宿命

建設省の冬期歩行者空間確保パイロット事業認定に伴い「鷹巣町雪みち計画策定部会」の初会合が、一月九日役場で行われ、関係者十四人を委嘱。これまでの車中心の除雪体制から、「歩行者の生活空間の確保」という立場で提言、助言を求めて二月上旬までに取りまとめ、快適で安全な地域づくりをめざします。

雪国の除雪は車社会を繁栄して、車道の確保が中心的に考えられてきましたが、社会の進歩に伴い生活空間としての歩道が見直されています。歩行者空間の確保は積雪地帯における重要な施策であり、各地で流雪溝や歩道除雪など

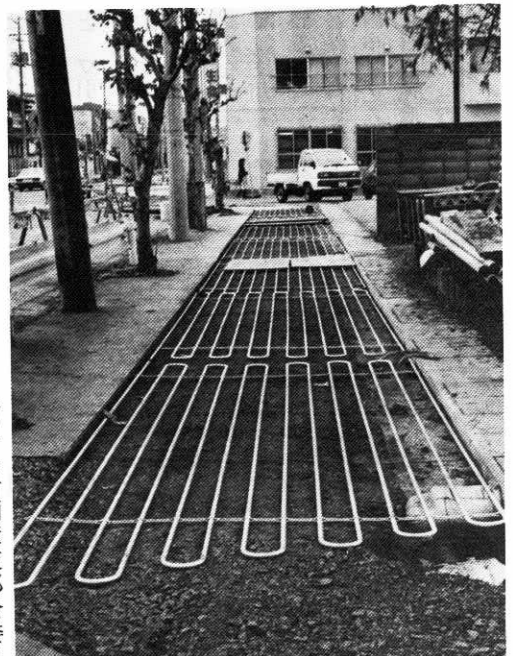
が行われています。

今回パイロット対象区域になった旧鷹巣地区は町の中心地で、全人口の約五〇％が集中しており、鷹巣小学校や鷹巣農林高校、公的機関、病院をはじめ商店などが集中し、車両、歩行者とも通行量が多く、この区域の安全で円滑な通行を確保することが急がれています。

### 克雪対策事業の現状と計画

豪雪地帯である当町においては、除雪機械の充実により幹線道路はほぼ確保されるようになりましたが、市街地では機械除雪による排雪がむずかしく、歩道はもとより車道まで狭めることになり、車や歩行者の不便のみならず、住宅密集地においては、消防、救急の面からもその対策が課題となってきました。

今後の取り組みとしては、



好評の無散水消雪施設

▽昭和五十九年度から都市下水路の面的整備として、側溝整備(町単独事業)を実施し、

雪みち計画策定部会委員は次のとおりです。

雨水の排除はもとより冬期における道路幅員の狭少を解消するために、除雪で路上に堆積した雪を住民が投棄する樹を一定区間ごとに設置。平成六年度に完成見込み。▽幅員の狭少路線は、歩行者優先道路として道路全体を、また文教施設に通じる歩道や都市計画の歩道は、長期的に無散水施設を検討しています。▽モデル区域内の国道一〇五号線沿については、県事業として無散水消雪施設を昭和六十一年度より施工し、消雪の威力を発揮している。また、融雪溝も計画しています。

▽委員長 阿部正夫(建設課長) ▽委員 吉田敏夫(建設省東北地方建設局能代工事事務所維持修繕係長) 池田紘之(北秋田土木事務所道路課長) 松尾健正(企画調整課長) 小坂秀夫(町民課長) 保坂和雄(警察署交通係長) 堀井由蔵(交通指導係長) 九嶋勇吉(町中央協力委員長) 平田謙一(鷹巣小学校教頭) 三國彰一郎(鷹巣小学校PTA会長) 佐藤勉(商工会事務局局長) 成田哲子(商工会婦人部長) 工藤福蔵(銀座通り商店会代表理事) 五十嵐岩男(駅前商店会振興会代表理事)



# TAKANOSU SNOW FESTIVAL

けっぱれスノードライアル'89

# 雪づけまつり

町の青年三団体（商工会青年部、日専連鷹巣会青年会、鷹阿青年会議所）では、冬にもなにかイベントを！と、公民館分館グラウンドをメイン会場に、雪国ならではの『雪づけまつり』を二月十九日（日）に開催いたします。

## 雪上スノータイム トライアル

分館グラウンドで行われるスノータイムトライアルは、雪上における安全運転の習得と運転技術の向上を目的としており、一定条件を満たす方はどなたでも参加できます。

■参加資格 ▽免許証の所持者 ▽二十歳未満の方は、親権者の同意書を添付のこと  
▽車両一台に二人までとする  
▽JAF公認ライセンス者は参加できない。

■クラス区分 ▽Aクラス：F F、F R車 ▽Bクラス：四WD車 ▽Cクラス：女性ドライバーのみ。

■参加料 ▽二千円（昼食付）  
■申し込み ▽二月十七日まで  
に商工会・笹村さん（☎六二一八五〇）まで。

## 手づくりソリ 人カ大会

約三・五\*のコースにアイデアと機能性を持たせた手づくりのソリで、タイムを競うものです。

■参加は自由です。

■競技規程 ▽五人以内のチーム参加とする ▽ソリの大きさは、60\*×90\*以上の手づくりのものとする ▽ソリの搭乗者は50\*以上とする  
▽使用する材料は特に規制しない（ジャンボスノーボートは認めない） ▽簡単な設計図を大会事務局へ提出すること  
▽引き手（または押し手）と乗り手の途中での交換は認めない ▽履物はスパイクなどの金具が底に付いたものは認めない。

■競技方法 ▽タイムレース  
■参加料 ▽一人・千五百円（傷害保険料です）  
■申し込み ▽二月十五日までに日専連鷹巣会事務局・佐藤浩さん（☎六二一一四一五）まで。

- 雪上スノータイムトライアル 午前9時～午後3時
- 手づくりソリ人カ大会 午前11時～午後1時
- もちつき大会 正午～午後12時30分
- トライ・アイスロン大会 午後1時～午後3時

## トライ・アイス ロン大会

「あなたの気力と体力に挑戦！」と企画されたトライアイスロン大会は、約三百メートルのコースをソリや自転車、ミニスキーパーなどを乗りついでタイムを競うもので、途中にはデコボコや雪を積みあげた「大山」を作るなど、変化に富んだコースとなっています。

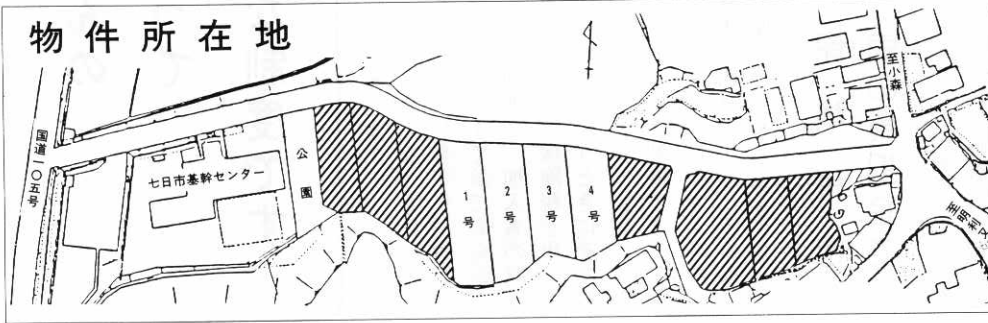
■参加は自由です。

■クラス区分 ▽小学生の部 ▽中学生の部 ▽一般の部

■問い合わせは ▽鷹阿青年会議所・千葉さん（☎六三一一四六四）まで。

# 七日市寺山下団地分譲中です

広々スペースが大好評！



分譲地は、七日市基幹集落センターの隣接地で、国道一〇五号線、町道七日市・松沢線に囲まれ陽当たりもよく、交通に恵まれ家庭菜園や庭なども十分にとれるスペースなど、市街地にはない利点が魅力となっております。

## 七日市寺山下団地 分譲案内

- ▽分譲場所―鷹巣町七日市字寺山下地下
- ▽地目―宅地
- ▽地積及び価格
  - 一号：八五四・四五平方 坪 五四七万円
  - 二号：七七二・七九平方 坪 五一八万円
  - 三号：六四三・三二平方 坪 四五一万円
  - 四号：六〇三・六六平方 坪 四二三万円
- ▽道路―町道、幅員八坪（全面アスファルト舗装）
- ▽交通―JR鷹巣駅より七キロ バス・七日市農協前下車五十坪。
- ▽教育―南小学校まで三百メートル、南中学校まで二・五キロ。
- ▽その他―都市計画区域内、用途地域指定なし。
- ▽問い合わせ―財政課管財係（☎六二―一一一内線二三四）

## メルヘンの世界

「葛黒火祭りがまくら」を見る会

マイクロバスが出ます

○日時 二月十九日（日）

午後五時三十分中央公民館前出発

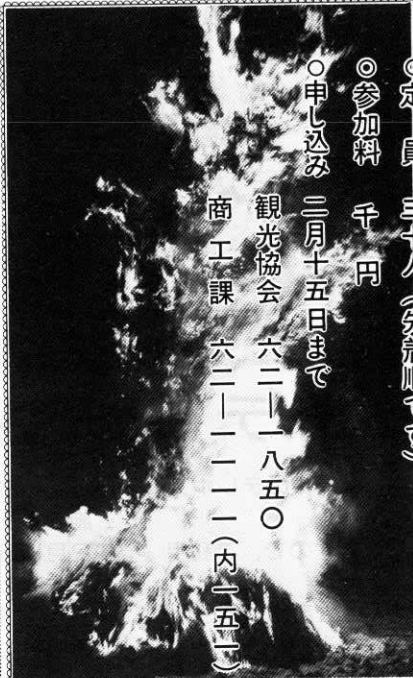
○定員 三十人（先着順です）

○参加料 千円

○申し込み 三月十五日まで

観光協会 六二―一八五〇

商工課 六二―一一一（内二五）



## 交通事故のご相談は

相談センターへ 〈無料〉

○平日 午前九時三十分～午後四時四十分

○土曜 午前九時三十分～正午（第二、三は休み）

○弁護士相談日 毎週木曜日 午後一時～四時

秋田自動車保険請求相談センター

秋田市大町三一五―八日産秋田共同ビル四階

☎〇一八八―二三―五九二一



健康こそ一番の財産です

# 国保はみなさんの

## 健康にとって

### 大切な制度です

#### みんなの健康を ささえる国保

家族みんなのすこやかな笑顔はまず健康からです。ふだん、どんなに健康だと思っても病気やけがは予期しな

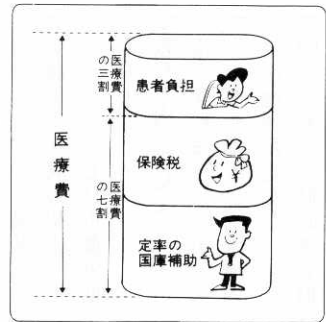
いでおえます。

国保はそんなときに、みなさんのくらしを守り、病気やけがが治るまで診てもらえる大切な制度で、加入者の収入等に応じて、保険税を出しあい、いざというときにそなえ助けあおうという「相互扶助」を目的とした制度です。みなさんのかけがえのない健康と明日のため、みんな为国保をささえていきましょう。

#### 保険税と 国の負担金で

みなさんがお医者さんにかかったときの医療費の七割(退職者医療制度の該当者は七割または八割)を国保が負担しています。残りの三割は窓口でみなさんが支払うこととなります。国保負担の七割はみなさんが納める保険税と国か

らの負担金などによりまかなわれています。



#### 納税義務者は 世帯主

保険税を納めることを義務づけられている納税義務者は世帯主です。たとえ、世帯主が勤務先の健康保険に入っていて国保の被保険者でなくても、家族の誰かが国保に加入していれば、世帯主が納税義務者となるわけです。

#### 保険税は資格が できたその月から

保険税は被保険者になったその月から納めなければなりません。被保険者になった月というのは、加入の届出をしたときからではなく、職場の健康保険をやめたとき、あるいは他の市町村から転入して

その居住地に住みはじめたときをいいます。届出が遅れると、この被保険者になったときまで、さかのぼって保険税を納めなければなりません。

#### 医療費が ふえてます

医療費がふえると保険税もあがることとなります。保険税をあげないためにも日頃から健康づくりに心がけましょ

医療費が上がると  
保険税もあがります

#### 便利な口座振替

あなたの預金口座から自動的に保険税を納付できる制度です。納め忘れの心配もなく忙しい方や不在がちな方などに大変便利です。

国保についての問い合わせは  
保健課国保係(☎六二一一一  
一一・内線一三二)へ

## 農業技術テレホンサービス

農業改良普及所では、農業技術情報のテレホンサービスを行っております。

2月の放送予定は次のとおりですので、ご利用ください。

■2月4日～9日 品種の特性と生育相(あきたこまち)

■2月10日～17日 育苗と施肥体系(あきたこまち)

■2月18日～25日 倒伏させないあきたこまち栽培

■2月26日～3月3日 側条施肥について



おしらせ

婦人就業希望者技術講習会

▽役場商工課では、就業機会が少ない婦人に対し、技術講習会を実施します。

▽受講対象者「婦人の求職者のうち、就業に当たり技術を必要とし受講を希望する方。」

▽実施科目「病人介護・縫製和裁・編物・経理事務・手工芸など受講者が三十人以上の場合講習を行います。」

▽開講日数「二十一日間（一日の開講時間二・五時間）」

▽修了証書「技術講習を修了した方には、修了証を交付すると共に職業安定所に登録されることとなります。」

▽申し込み「二月末日まで、役場商工課（六二一―一一一内線一五一）へ」

教育改革モニタ―を募集

文部省では、教育改革モニタ―を募集しております。

教育改革に関する諸施策を実施する際、広く国民の意見、

要望を文書でまとめてもらいます。募集人員は五百人で、任期は二年。応募資格は二十歳以上で教育改革に関心のある方、(町議会議員や公務員、行政相談員は応募できないが、校長や教員は応募できる)。

申し込みは二月十日まで、秋田市山王四丁目一―二「県教育庁幼児・養護教育課」(六〇一八八―一六〇―二二四七)へ

母子健康手帳交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程「二月六日、二十日」  
▽受付「午後零時三十分から一時(終了時間三時)」  
▽妊婦教室内容「妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防」  
▽持参品「印鑑、齢ブラシ」  
▽場所「中央公民館保健相談室」

生き生き健康教室の講演会

町では冬期成人病予防教室「生き生き健康教室」を五回コースで開催しております。

無線技士の試験

電話級アマチュア無線技士試験を秋田市文化会館で行います。

試験申請書の受付期間は、二月一日から二十五日まで、受験希望者は手数料二千三百六十円を同封し、次のところへ申し込みください。

仙台市中央四丁目九―十三 仙台ホリビル「無線従事者国家試験センター、東北支部」(六〇二二―二二一―四一四七)へ

広報たかのす  
1年分を500円で  
製本してみませんか  
希望者は2月28日まで  
広報秘書係に届けてください。

町・県民税申告相談日程表

| 月日      | 申告会場        | 申告相談時間        |          | 受付時間       |
|---------|-------------|---------------|----------|------------|
|         |             | 午前9時～正午       | 午後1時～4時  |            |
| 2/3(金)  | 三ノ渡会館       | 明利又、上舟木松沢、黒森  | 与助岱三ノ渡   | 午前8時～午後3時  |
| 2/4(土)  | 葛黒林業センター    | 大畑、葛黒         |          | 午前8時～午前11時 |
| 2/6(月)  | 七日市基幹集落センター | 本郷1～3組中畑      | 本郷4～6組   | 午前8時～午後3時  |
| 2/7(火)  | 〃           | 吉野、妹尾館品類、根木屋敷 | 岩脇、横測    | 〃          |
| 2/8(水)  | 沢ロ林業センター    | 小森            | 小摩当、上野   | 〃          |
| 2/9(木)  | 〃           | 藤株            | 脇神       | 〃          |
| 2/10(金) | 〃           | 堂ヶ岱           | 中屋敷      | 〃          |
| 2/13(月) | 栄農協会議室      | 掛泥            | 高野尻団地高野尻 | 〃          |
| 2/14(火) | 栄生活改善センター   | 摩当            | 李岱、岩坂下大沢 | 〃          |
| 2/15(水) | 栄農協会議室      | 太田            | 田沢       | 〃          |
| 2/16(木) | 今泉生活改善センター  | 今泉            |          | 〃          |

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

| 2月 | 曜日 | 医療機関名      |
|----|----|------------|
| 1  | 水  | 奈良医院       |
| 2  | 木  | 佐藤外科消化器科医院 |
| 3  | 金  | 藤原医院       |
| 4  | 土  | 佐々木産婦人科医院  |
| 5  | 日  | 盛岡医院       |
| 6  | 月  | 鷹巣病院       |
| 7  | 火  | としま医院      |
| 8  | 水  | 戸嶋産婦人科医院   |
| 9  | 木  | 近藤医院       |
| 10 | 金  | 北秋中央病院     |
| 11 | 土  | 奈良医院       |
| 12 | 日  | 佐藤外科消化器科医院 |
| 13 | 月  | 藤原医院       |
| 14 | 火  | 佐々木産婦人科医院  |
| 15 | 水  | としま医院      |

(急患以外は受け付けません)

# 地域産業の活性化と 生活の合理化を

七日市地区公民館



地区公民館めぐり、今年度のしんがりは七日市公民館になりました。(平成時代のトップということにもなります)

七日市公民館今年度重点は「地域産業の活性化と生活の合理化をすすめる」であり、今日的な課題をとらえて鋭い切り込みであります。

この重点を支える典型的な行事を紹介することにします。

## 地区産業祭

今年度で七回を重ね、地区住民とのなじみも深くなりつつあります。

産業祭といえば、どこの地

区でも農協中心であるが、こ

こでは地区公民館が主催して、しかも産業文化祭の色彩が強いのが特色といえるでしょう。

まず農産物の展示、生活工夫展、農畜産品と地場産業製品の即売(比内鶏、舞茸、縫製品)が中心のな行事にすえて出品物も年々増加しています。

ちなみに特別賞として、町長賞長芋、農協組合長賞シントウ、公民館長賞シイタケの佃煮でありました。

祭りを盛り上げる人気ある行事は、婦人部の開設する食堂と小猿部地区ゲートボール大会であります。ゲートボール

は七日市地区内だけでなく、栄、沢口、森吉町の各地区から精鋭が参加して熱戦にづく熱戦が展開されました。

## 地区新年交流会

中断されていた、地区新年交流会が今年から復活されました。公民館長、農協組合長、自治会会長から新年の抱負を聞き、なごやかな語らいの中で、親睦と連帯が深められました。婦人会の舞踊につづいてカラオケで、会は増々盛りあがりを見せたようであります。

## トントト焼

二月のお楽しみ行事の一つはドント焼であります。正月のしめかざり等を子ども達が家々を廻って集め、盛大に燃やす行事です。婦人会提供の甘酒は例年人気抜群であるようです。燃えつきると、次は老人会と子ども達の交流会にうつります。民芸品(ワラ工品)の伝承や、即売も実施される予定であります。何よりも大切にしているのは行事を通して子ども達に郷土の心を伝えること。やさしさ思いやりの心を育てることであるようです。

ふるさと

## 人物伝

### 根本通志

一九〇一—一九六九

昭和初期、鷹巣農林学校に在学した人であれば誰でも根本先生を思い出せると思う。小柄でキビキビしてスポーツは万能で、数学や農業経済を教え、「チョマ」の愛称で親しまれていた。

通志は西仙北町出身で、東大教授、文学博士で明治天皇の侍講まで仰せつかった根本通明の孫として明治三十四年、東京で生まれる。

大正十二年、東大農学部卒業、愛媛、鹿児島県の農会技手をつとめ、昭和四年

鷹巣農林学校教諭として着任する。

当時、学校の正門は伊勢町の方で、宮前町あたりの杉木立の中に教員住宅があった。根本先生のお宅には生徒がよく遊びに行った。

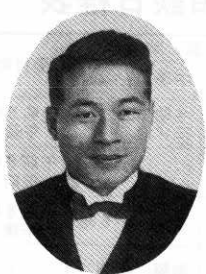
先生は指導上心配な生徒はかなり長い期間自宅に下宿させるなど熱心な方であった。また、剣道、陸上競技

庭球、野球、スキー、いずれも達人の域にあり、指導する部活動は対外試合ですばらしい成績をおさめた。剣道では背が低いので相手の面を打つとき跳ねあがって打っていた。その他、数々のエピソードを残した。

昭和二十年三月能代女子実業学校長(現在の能代農業高校)に転出、同二十五年金足農業高校長となり、同

三十七年退職、同年、県教育委員に任せられ、昭和四十四年現職中に肺癌で没す。六七歳、勲四等瑞宝章に叙せらる。小森出身のソノ未亡人は秋田市に居住している。

資料(奈良幸恵 簾内政雄 談) 文責 長崎 久





## シーズン開幕を告げる

1月15日、第6回薬師山学童クロスカントリー選手権が行われ、シーズン最初の大会とあって、選手、父兄など約2,500人で大にぎわいとなりました。昨年同様雪不足で開催が危ぶまれましたが、関係者の懸命の努力でコースが整備され、白熱したレースが展開。「ガンバレ!」「それ行け!」と大きな声援が飛びかっ

ていました。

今年の冬も昨年同様暖冬傾向で、当地方も大寒をすぎても雪はまばらで、1月23日現在で積雪はゼ

ロロとなっています。朝の排雪の手間も省け、住民にはありがたい暖冬となっていますが、道路はスパイクタイヤで削られた粉じんが舞い、いち面にモヤがかかったようです。「逆に春が遠くなるのでは?」の声も聞かれ、心の内は複雑なようです。

## 暖冬傾向続く



## 「ワーあがったあがった」

第24回町子供会タコあげ大会が1月14日、米代川河川敷で行われ、16チームが参加しました。「手作り」が原則とあって武者絵や、平成元年タコまで登場。バランスをとるのが一番むずかしく、なかには隣りのタコとからみあい、キリモミになる場面も見られ、時おり吹きつける吹雪にほっぺを赤くして、糸を引いていました。

綴子農協青年部による「雪中田植え」が1月15日に行われ、今年の豊作を祈願しました。稲に見

たてたワラと豆ガラを16株植え、2月1日に稲刈りをしますが、その時ワラが倒れたり、立っていれば凶作、ほどよく傾むいていれば豊作とのこと。昨年は冷害であっただけに三沢隆一さん(29)は、先輩の指導のもとに慎重な手つきでした。

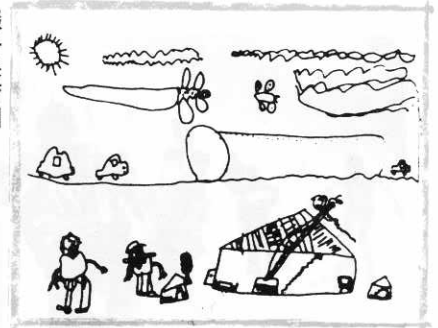
## 豊作を祈る雪中田植



# の広場



綴子保育園  
いでがわ  
ゆきのぶちゃん  
(5歳)



下手の横好きで、短歌をはじめ、七十歳を越した今日になっても続けている。  
三つ子の魂百までというが小学六年の時の担任が歌人の稲垣浩先生であり、その手ほどきを受けてから今に続いているわけである。



あけぼの町  
下野 愛禅さん(70歳)

## 今月のテーマ 『私の生涯学習』

### 対談 わたしたちの意見



はこぞり  
(雪道の乗り物)

2月は冬の盛りで、外ではよくかねのついた下駄スケートや、はこぞりで遊んだ。旧正月頃一番楽しい乗り物で、子どもを乗せたり、お医者さんが往診のため、車夫が押して走っていたこともあった。

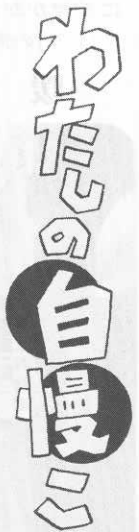
〔松葉町・佐藤富雄さん〕

私にとって、歌を詠むということは、名を成すための手だてではない。喜怒哀楽を歌に託し、時によってはおのれ自身を慰め、また、活路を求めるためのよりどころでさえあったのである。  
いずれにしても、私は過去において、短歌によって立ち直ることのできたのも事実である。  
そのような短歌への思いが、縁あって鷹巣町に存在することによって、地元の短歌会への入会となったのである。例会の皆との語らいの中で、私



## 交通安全運動で善行章を受章

宮前町 豊村政吉さん(60歳)



昨年十一月、日本善行会から善行銅章を受章したのは鷹巣小学校の児童たちのご協力のお陰です。

私が交通安全運動に参加したのは昭和三十六年十月に開かれた秋田国体の時からです。鷹巣町ではバレーボール競技が行われ、当時ボーイスカウト隊を結成し、バレーボール会場や街頭で交通安全整理に小中学生の隊員たちが活躍しました。その後毎年おこなわれる春と秋の交通安全運動では、広

報車で交通安全を呼びかけてきました。  
年毎に交通量が激増して通学する児童たちが車の危険にさらされ、交通戦争から子供たちを守らねばならない」と鷹巣小学校の重点通学路に朝の登校時、交通指導にあたりました。  
私は交通指導ばかりでなく、子供たちのあいさつ運動も大切だと考え、通学する一人ひとりに毎朝「お早ようございます」と声をかけています。最初はこれに返えてくれる子供が少なかつたが、今では全校の児童みんなが進んで「お早ようございます」とあいさつをしてくれま

す。  
吹雪の日などは休もうかと思いますが、子供たちの元気な声に励まされ、交通指導を続けていきたいと思っています。





綴子保育園  
たかはし みき子ちゃん  
(5歳)



# みんな



は私なりの歌心を育てている。そういう意味においても、短歌への関心は、私の生涯学習といったところであろうか。

## 謡曲研修会



材木町 近藤 栄一さん(63歳)

この会は観世流の研修会で、私がこの会に入ってから五年になりましたが、発足してから二十年近くになるとのことです。会員は二十人ぐらいいですが全員が和気あいあい、月に二度の練習に参加しています。

## 広報のしおり

二月一日から七日

日までは成人病予防週間です。成人病による死亡者は、昭和六十年以来、がん、心臓病、脳卒中の順となっています。これらの成人病は、日常の生活習慣と深い関係があります。不規則な生活やたばこ、アルコール、塩分の取り過ぎなどが、

謡曲は、わが国の古典芸能といわれ現代においても昔作られたものがそのまま謡いつがれており、そのためか他の芸術や文化活動よりは取っ付きにくいようです。しかし暫く辛抱して教伝をうけると神、男、女、狂、鬼の曲趣も謡いのよさもわかって来ますし、さらに畳の上にながらにして詩歌管弦を口ずさみ、いにしへの物語りを知り、名所旧跡を偲ぶなど幽玄の一端に接することが出来ます。また、腹の底から発声するのでうつぶん晴しにも良いし、健康にも役立つともいわれています。皆さんも謡曲研修会で、腹の底から発声してみませんか。お待ちしております。

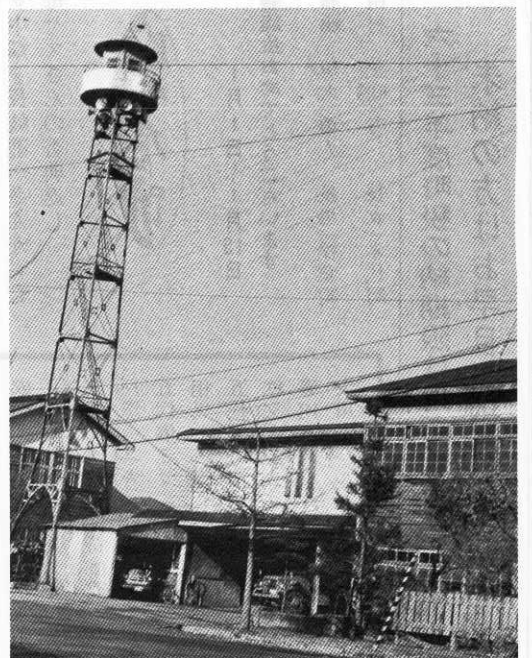
成人病を発生させる共通点というわけです。

成人病を予防するには、まず生活習慣を見直すことが大切です。具体的には栄養、運動、休養などの見直しです。高齢化社会に移行している現在、健康であるということ、大きな財産といえます。そのためには、日ごろのチェックと年一回の定期検診を、忘れずに心がけるようにしましょう。

昭和30年代の鷹巣消防庁舎風景である。シンボルである高さ21mの望楼から昼夜監視を続けたが、電話の普及とともに役目を終えた。現在は場所も移転し、ハシゴ車、レスキュー隊など複雑化する有事に備えるとともに、予防活動の強化につとめている。



## たかのすの昔



# あしらせ



一線美術運営委員 九島寮二氏

## 二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は八日と二十日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、八日とお酒と肝臓について、二十二日動脈硬化予防について行います。

リハビリ教室は十五日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四カ月児健康診査は二十八

日です。

対象は昭和六十三年十月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十八日です。

対象は昭和六十三年七月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。※場所はいずれも鷹巣保健所です。

一歳六カ月児健康診査は二日です。

対象は昭和六十二年六月、七月生まれのお子さんです。

受付時間は、午後零時四十分から一時二十分まで場所は中央公民館ホールです。

フッ素イオンむし歯予防は二日です。

対象は満三歳児以上のお子さんです。受付時間は午後一時から三時まで、場所は中央公民館保健相談室です。母子健康手帳、タオルをお持ちください。

## 老人の精神衛生 相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆ほう疾患など、老人の精神衛生に関する相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますので、ご利用ください。

▽精神衛生相談 二月八日、二十二日(午後一時〜二時三十分)

▽一般健康相談 二月九日、二十三日(午前九時〜十一時)

▽場所 鷹巣保健所

## 香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽掛泥 金沢登さんから亡父多惣治さんの香典返し

▽小森 佐藤春男さんから亡母ツヤさんの香典返し

▽相善 大川孝一さんから亡母ハルさんの香典返し

▽横淵 千葉忠利さんから亡父堅治さんの香典返し

▽根本屋敷 佐藤福治さんから亡母アキさんの香典返し

▽大町 寺田公平さんから亡父富二さんの香典返し

▽舟場 伊藤征治さんから亡父新助さんの香典返し

▽小田 相馬定義さんから亡妻テツエさんの香典返し

▽堂ヶ岱 小塚嘉七さんから亡甥山田勝美さんの香典返し

▽中畑 長岐龍一さんから亡母ヤスさんの香典返し



■誕生おめでとうございます  
1月1日〜1月15日

藤嶋 勇太(勇人 長男)松葉町  
田村 美咲(寿 長女)米代町

山形 芳(雅晴 二女)旭町

高堰 将悟(康生 長男)旭町

九嶋 朝香(勝春 長女)岩脇

堀内麻有子(好信 二女)下町

菅原 勇太(秀美 長男)あけほの町

藤嶋 翔(和則 長男)前野

■二人の前途を祝福いたします

松田 智 森吉町

畑 中真里 あけほの町

山内 茂 向黒沢

(バスターウンテルロアナリサフィリン)

松田 博 元町

栗生澤 靖子 秋田市

おくやみ申しあげます

相馬テツエ(65歳)小田

近藤 米松(78歳)東横町

千葉 堅治(76歳)横瀬

成田 トメ(78歳)松葉町

伊藤 新助(76歳)舟場

成田 タミ(50歳)舟場

戸澤 ユキ(88歳)材木町

五代儀ミサ(88歳)松葉町

相馬トミエ(76歳)松葉町

五代儀 清(74歳)米代町

秩父 光夫(62歳)あけほの町

篠内 スモ(76歳)今泉

大川 ハル(88歳)相善

六十三年度町税の納期限は過ぎております

未納の方はお早目に納付を